

【奨励賞】

農業改革、いまノウチ！？

東京経済大学 経済学部	林 咲希
〃	藤野 友貴
〃	永田 健祐
〃	金子 修太郎

(要旨)

日本の農業は、収益力改善の必要性に迫られている。しかしながら、農業従事者の減少、農地の狭さといった障害が存在する。これらを克服するためには、経営改革の必要があり、その解決の糸口となるのが、農業の法人化とそれに伴う「農業サラリーマン」という新しい雇用形態である。

農業の法人化へ向け、最大の壁となるのが、農地集積問題である。当問題は農地バンクを通じて解決されると思われるが、それには多くの時間を要することから、農業経営改革が停滞してしまうことが懸念される。

そこで、散在している農地を借りた農業法人に対して「オプション付農地貸借」を付与することにより、「農業経営の強化・人材確保・土壌維持」の促進を提案する。日本の農業の将来性をオプションによって現在の権利に変換し、農業経営改革のスピードアップを図ろうというものである。